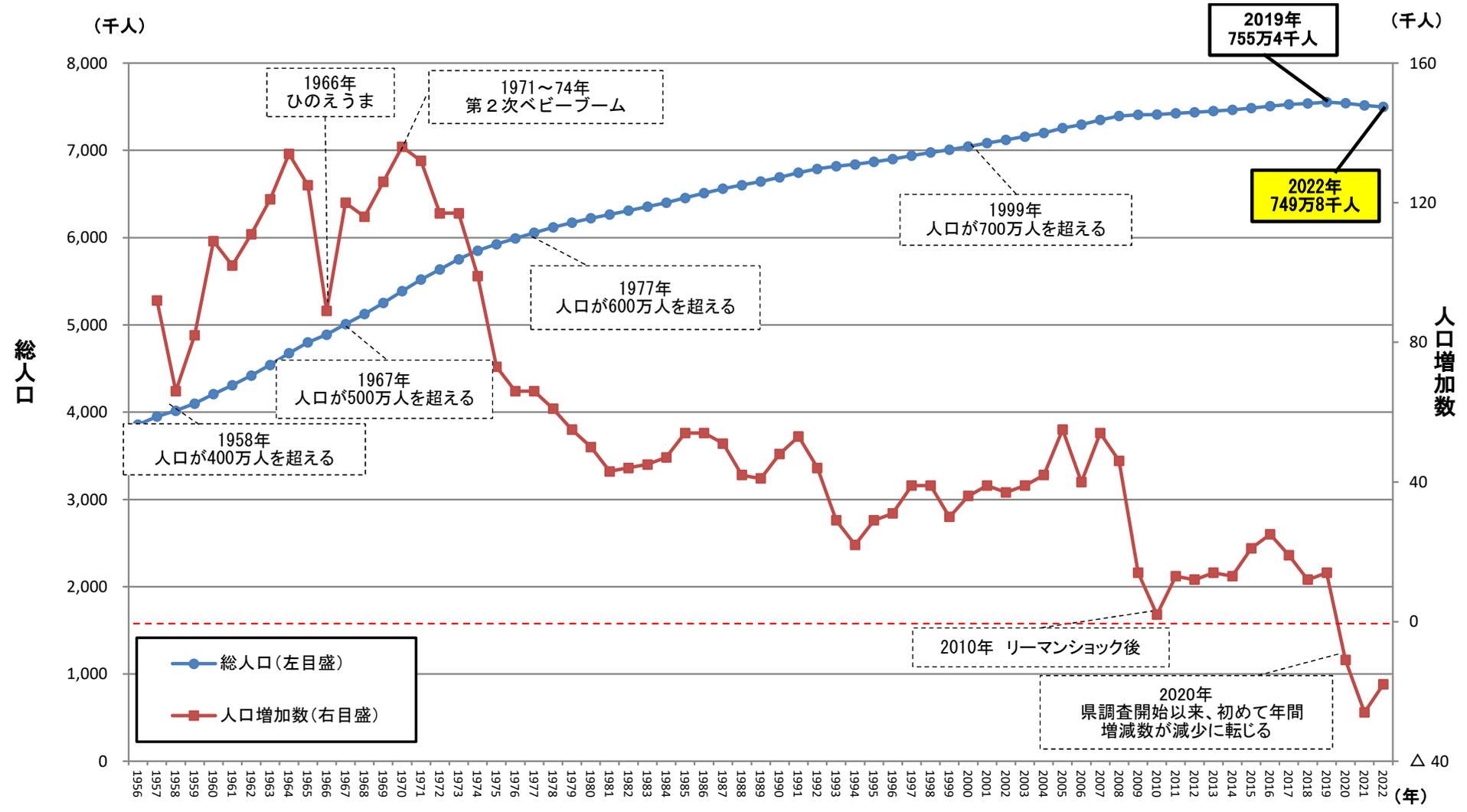


愛知県の人口動向について

愛知県の人口の推移



○ 愛知県の人口は、2019年の755万4千人から3年連続の減少となり、2022年10月1日時点で749万8千人。

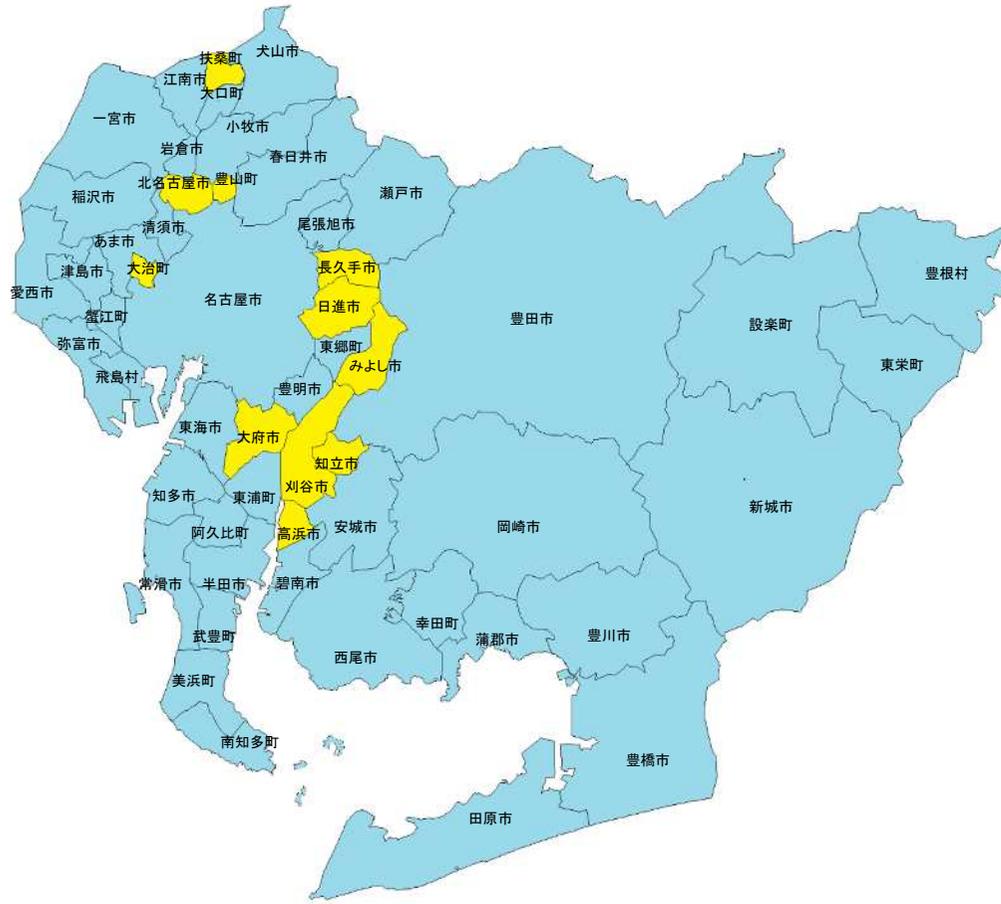


出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成
 ※総人口は各年10月1日現在、人口増加数は前年10月～当年9月

市町村別人口



○ 直近1年間(2021年10月～2022年9月)の県内の市町村別人口は、日進市をはじめ11市町で増加した一方、名古屋市を含む43市町村で減少しており、人口減少地域は県内全域に広がっている。



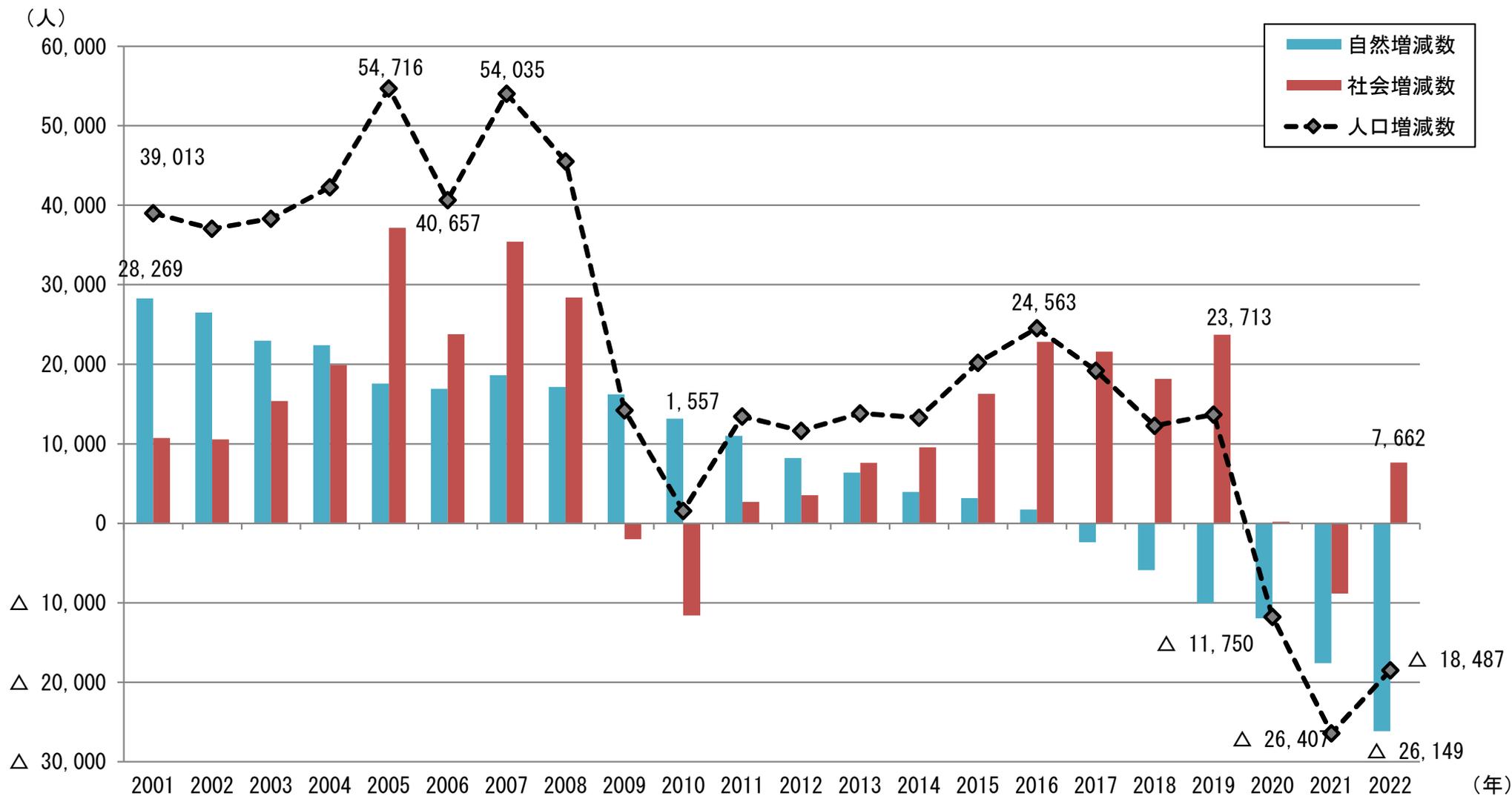
:人口が増加している市町
 :人口が減少している市町村

市町村名	2022.10.1 推計人口	2021.10～22.9 人口増減数	市町村名	2022.10.1 推計人口	2021.10～22.9 人口増減数
名古屋市	2,325,778	△ 138	岩倉市	47,710	△ 112
豊橋市	367,217	△ 2,371	豊明市	68,830	△ 139
岡崎市	383,100	△ 776	日進市	92,804	723
一宮市	376,327	△ 2,022	田原市	58,058	△ 557
瀬戸市	127,004	△ 526	愛西市	59,748	△ 572
半田市	116,128	△ 1,039	清須市	67,093	△ 282
春日井市	306,774	△ 929	北名古屋市	86,331	52
豊川市	184,357	△ 215	弥富市	42,641	△ 124
津島市	59,806	△ 455	みよし市	62,156	222
碧南市	72,217	△ 43	あま市	85,719	△ 296
刈谷市	153,447	18	長久手市	61,024	536
豊田市	417,256	△ 2,012	東郷町	43,632	△ 44
安城市	186,838	△ 543	豊山町	15,724	77
西尾市	168,209	△ 382	大口町	24,256	△ 56
蒲都市	78,651	△ 523	扶桑町	34,257	47
犬山市	72,471	△ 391	大治町	32,735	163
常滑市	57,978	△ 123	蟹江町	36,991	△ 113
江南市	97,068	△ 606	飛島村	4,417	△ 91
小牧市	147,174	△ 539	阿久比町	28,237	△ 105
稲沢市	132,992	△ 1,030	東浦町	49,654	△ 111
新城市	42,880	△ 632	南知多町	15,791	△ 411
東海市	112,937	△ 389	美浜町	21,938	△ 260
大府市	93,019	30	武豊町	43,267	△ 59
知多市	83,118	△ 672	幸田町	42,364	△ 238
知立市	72,088	3	設楽町	4,167	△ 166
尾張旭市	83,224	△ 166	東栄町	2,753	△ 89
高浜市	46,223	28	豊根村	943	△ 39
			愛知県	7,497,521	△ 18,487

要因別の人口増減数の推移



- 愛知県の人口の自然増減数は、2017年に減少に転じて以降、減少幅が拡大しており、2022年は△26,149人。
- 一方で社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年は11年ぶりにマイナスとなったが、2022年は、7,662人の増とプラスに転じた。

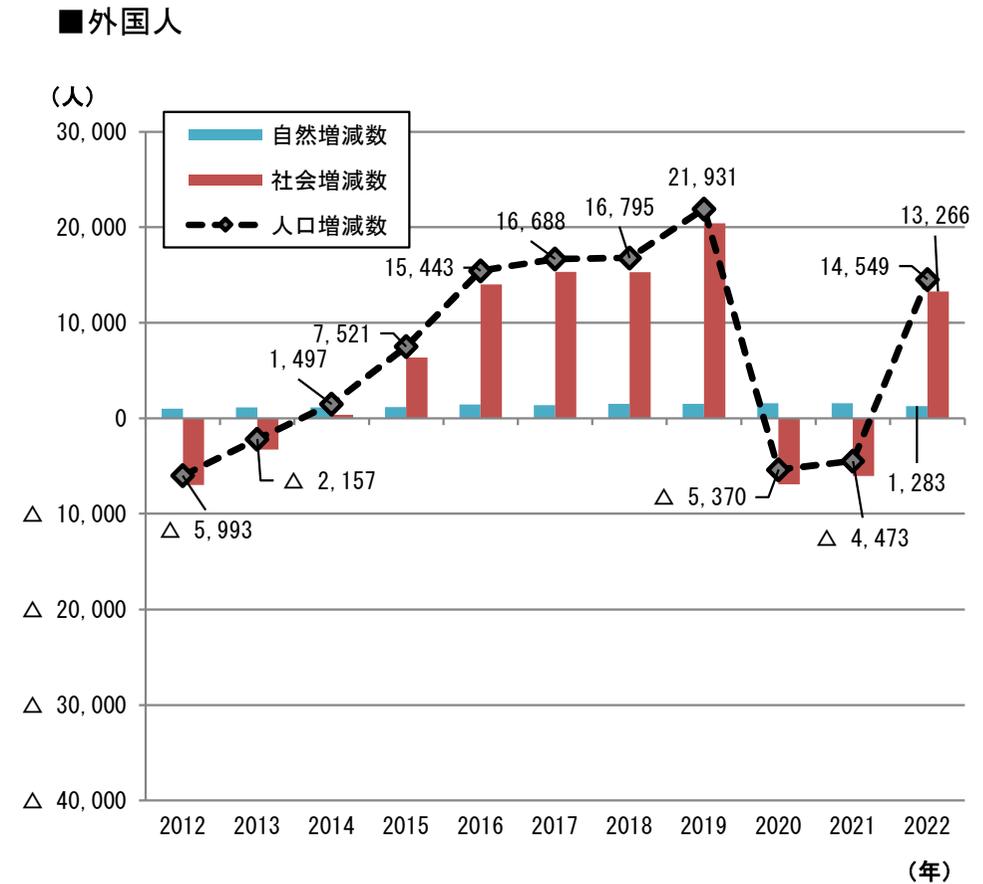
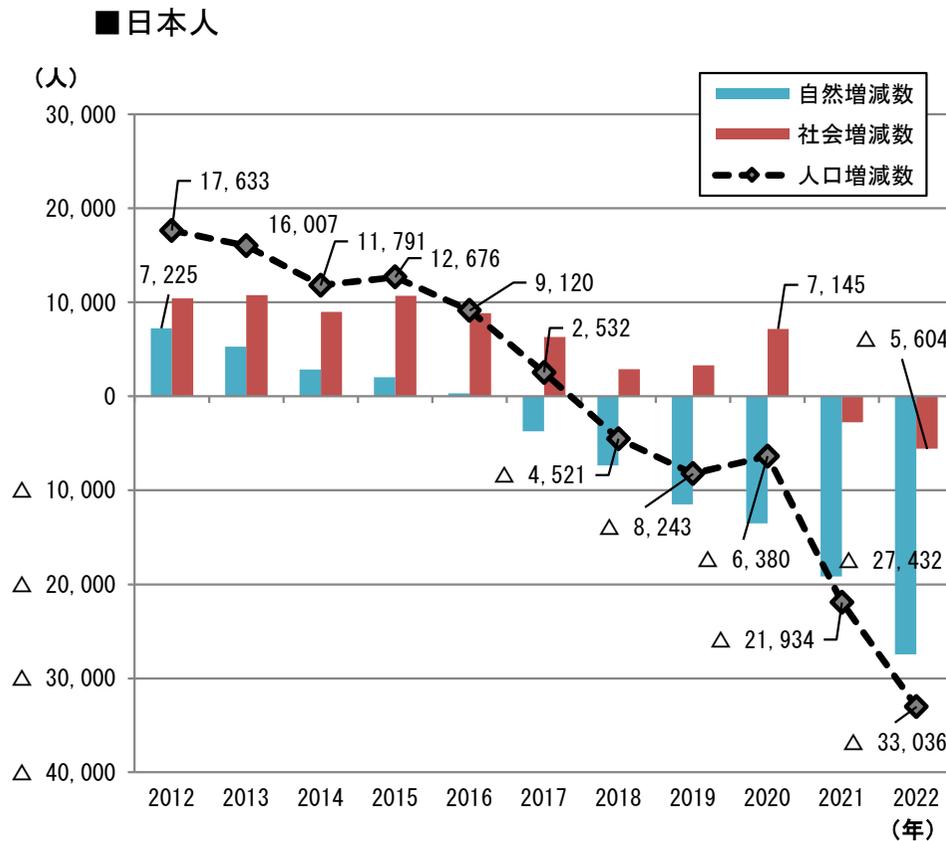


出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成 ※人口増減数は前年10月～当年9月

日本人・外国人別の人口増減数の推移



- 県内の日本人は、自然減の拡大に伴い、減少幅が拡大している。
- 外国人の人口については、2019年は年2万人を超える増であったものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制により、2020年・2021年は減少となった。入国規制の緩和に伴い、2022年は再び増加に転じている。



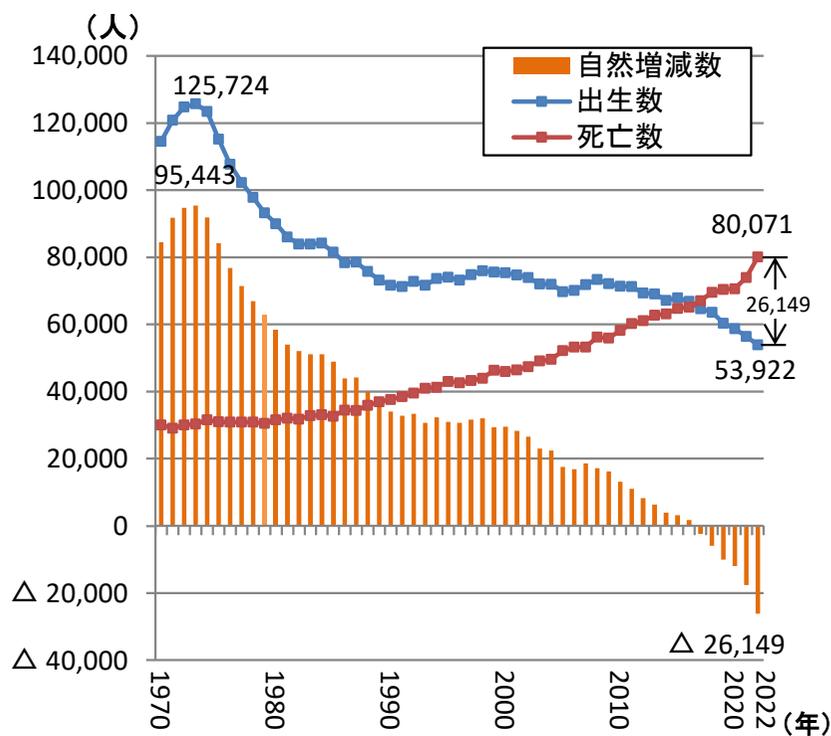
出典: 愛知県「あいちの人口」をもとに作成
 ※人口増減数は前年10月～当年9月

自然増減



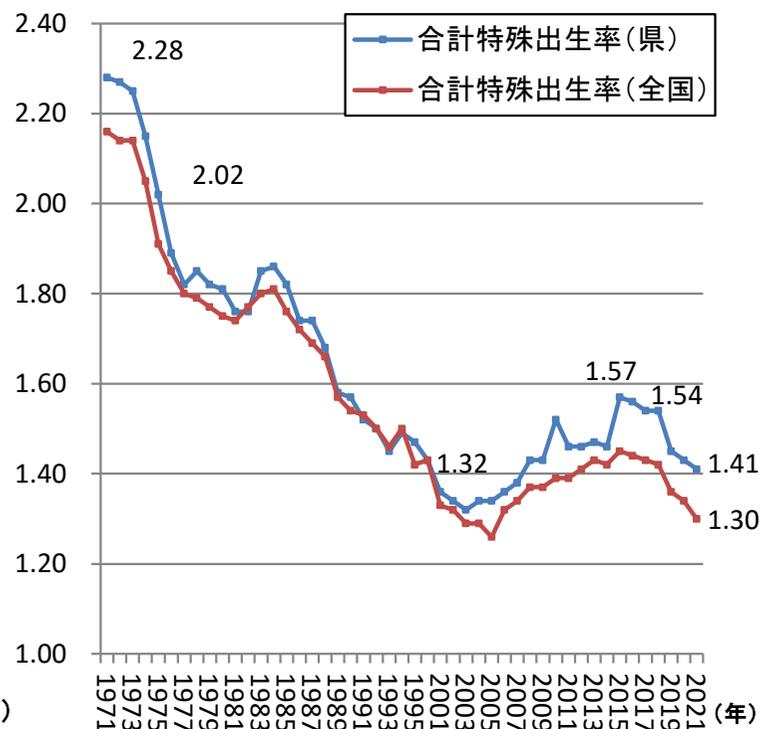
- 愛知県の出生数は減少が続く一方、死亡数は大きく増加しており、自然減の拡大が続いている。
- 合計特殊出生率は2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていたが、2015年を境に低下傾向となり、2021年は1.41。都道府県別では第23位で、大都市圏の中では高い水準。

■ 愛知県の自然増減数の推移



出典: 愛知県「あいちの人口」をもとに作成

■ 合計特殊出生率の推移



出典: 厚生労働省「人口動態統計」

※都道府県別合計特殊出生率

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄県	1.80
2	鹿児島県	1.65
3	宮崎県	1.64
4	島根県	1.62
5	長崎県	1.60
6	熊本県	1.59
7	福井県	1.57
8	佐賀県	1.56
9	大分県	1.54
10	鳥取県	1.51

23	愛知県	1.41
----	-----	------

39	大阪府	1.27
40	秋田県	1.22
41	京都府	1.22
42	埼玉県	1.22
43	神奈川県	1.22
44	千葉県	1.21
45	北海道	1.20
46	宮城県	1.15
47	東京都	1.08

全国	1.30
----	------

…大都市圏

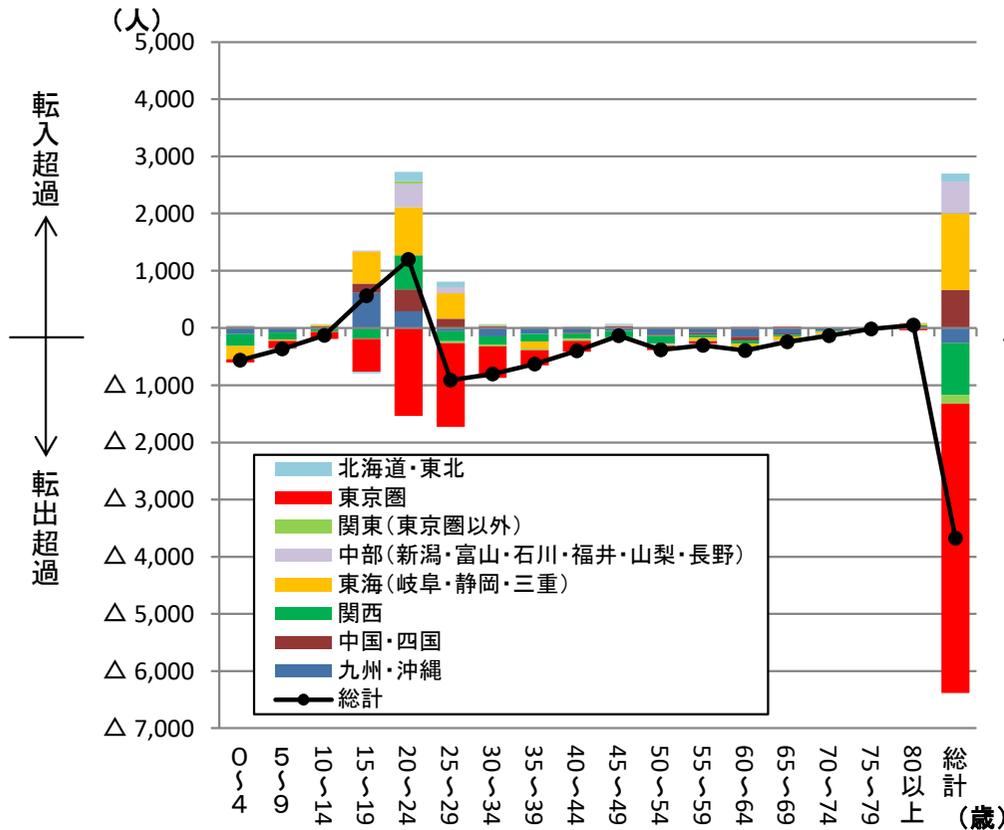
男女別・年齢別転出入超過数(国内移動)



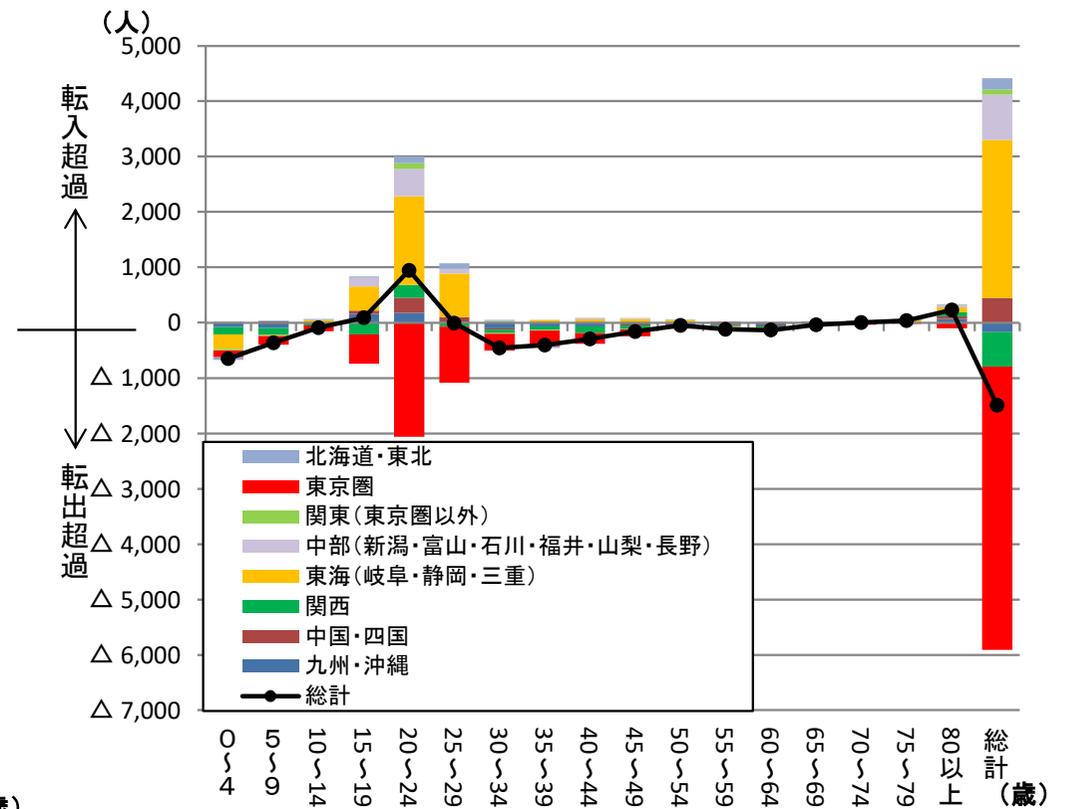
- 男性は、15～24歳で東海、関西、九州・沖縄などを中心に転入超過となっているが、東京圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)に対しては、20～29歳で転出超過が大きくなっている。
- 女性は、15～24歳で転入超過となっているものの、東京圏への転出超過数は、特に大学卒業後の就職時に当たる20～24歳が顕著。

愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況(2022年)

【男性】



【女性】



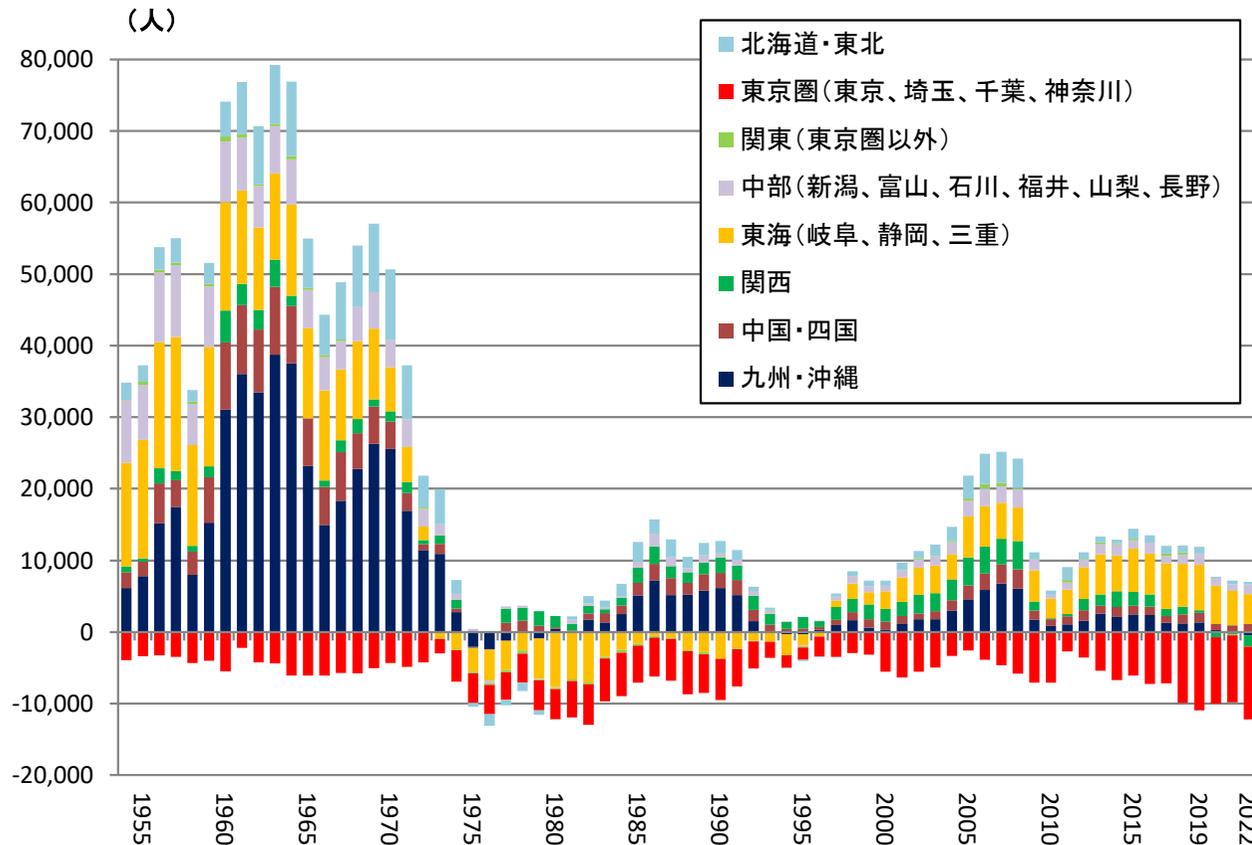
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成
 ※2022年1月1日から12月31日までの移動の計、日本人のみ

転出入超過数の推移

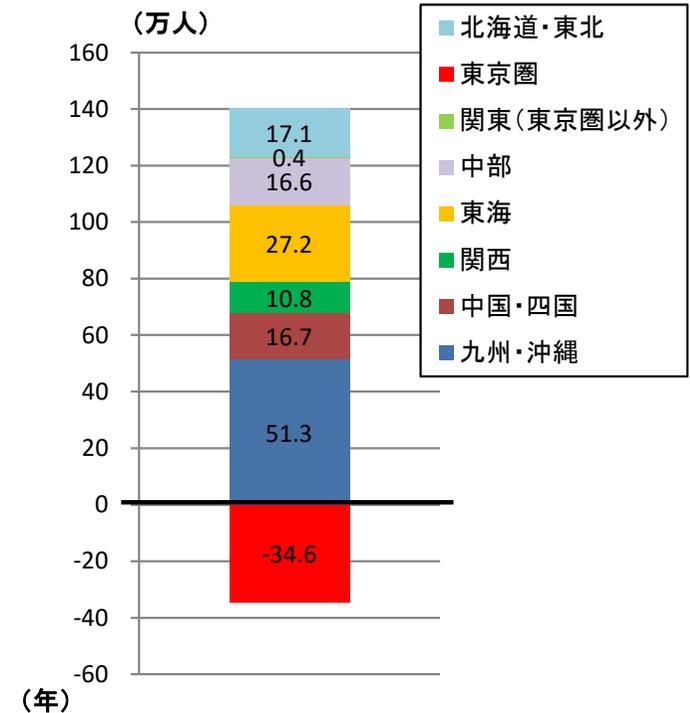


- 東京圏に対しては転出超過が続いており、近年では拡大傾向にある。
- 東京圏を除く地域に対しては転入超過の傾向が続いているが、超過数は減少傾向にある。

■本県と全国地域ブロック別の転出入の推移



■転入超過数累計(1954年～2022年)



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成
※日本人のみ